

教育委員会定例会会議録

1 日時

平成20年10月9日(木)

開会 14時00分

閉会 15時15分

2 場所

教育委員室

3 出席者及び欠席委員の氏名

出席者 丹保健一委員長、竹下讓委員、井村正勝委員、山根一枝委員、向井正治教育長

欠席者 無し

4 出席職員

教育長 向井正治(再掲)

副教育長兼経営企画分野総括室長 鎌田敏明

教育支援分野総括室長 真伏利典 学校教育分野総括室長 松坂浩史

社会教育・スポーツ分野総括室長 杉野周二 研修分野総括室長 山中良明

経営企画分野

教育総務室長 平野正人生

教育支援分野

人材政策室長 増田元彦 人材政策室副室長 吉間禎夫 人材政策室副室長 川口朋史

人材政策室副室長 横田浩一 人材政策室副室長 濱田嘉昭 人材政策室主査 花岡みどり

社会教育・スポーツ分野

スポーツ振興室長 村木輝行 スポーツ振興室指導主事 奥井達司

5 議案件名及び採決の結果

件名

議案第29号 職員の人事異動(県立学校)について

議案第30号 職員の人事異動(市町立小中学校)について

審議結果

原案可決

原案可決

6 報告題件名

件名

報告1 平成21年度三重県公立学校教員採用選考試験の結果について

報告2 平成20年度全国高等学校定時制・通信制体育大会及び東海高等学校定時制・通信制体育大会の結果について

報告3 抗議と要望への対応について

7 審議の概要

・開会宣告

丹保委員長が開会を宣告する。

・会議成立の確認

全委員出席により会議が成立したことを確認する。

・前回教育委員会(平成20年9月12日開催)審議結果の確認

前回定例会審議結果の内容を確認し、全委員承認する。

・議事録署名人の指名

竹下讓委員を指名し、指名を了承する。

・会議の公開・非公開の別及び進行の確認

議案第29号、30号が人事案件のため、報告題3が個人情報を含むため、非公開にて審議することを承認する。

会議の進行は、公開の報告題1, 2を先に行い、その後、非公開の議案を番号順に審議することを確認する。

・審議内容

報告1 平成21年度三重県公立学校教員採用選考試験の結果について(公開)

(人材政策室長説明)

平成21年度三重県立公立学校教員採用選考試験の結果について、別紙の通り報告する。1ページをご覧ください。結果をまとめてあります。1番目は第1次選考試験ですが、平成20年7月19日及び20日と2日間にかけて実施いたしました。受験者は2,340名、合格者は915名で、採用予定者の2から3倍程度を一次合格させております。2番目として2次選考試験です。試験日は技能・実技試験が8月22日、論述試験、常識問題を翌23日、集団・個人面接を25日から29日までの5日間にわたって実施いたしました。その結果ですが、受験者885名の内、最終合格者数393名、内訳はそこに書いてある通りですが、9月30日に発表したものです。合格者数につきましては前年度より70名ほど増加いたしております。倍率としては結果的には6.0倍、前年度は7.0倍でしたので、少し下がっております。それから各種特別選考ですが、今年度は障がい者を対象とした特別選考、スポーツ特別選考、社会人特別選考の合格者はいずれも0でした。なお、講師等経験者を対象とした特別選考におきましては59名です。2ページがその詳細を記載した一覧表です。

【質疑】

竹下委員

第1次合格者が915人ですね。第2次試験の受験者が885人で40人受験していないんですけど、理由は、大雑把に分かるんですか。

人材政策室長

理由というのは把握をしていません。一身上の都合という連絡をくださる人もいらっしゃいますし、黙って2次試験に来ない方もおみえです。

竹下委員

もし仮に、この40人が第1次試験を受けなかった場合、別の人が合格する可能性があって、その中から本当にいい人がということも連想できるものだから、ちょっと聞いてみたんですけど、これはしょうがないですね。

井村委員

体育の試験を拝見させていただいたんですけども、ちょっとレベルが低いというか、鉄棒なんかでも、蹴上がり難しかったりしてましたので、あの人たちは果たして通ったのかどうか良く判らないんですけど、如何だったんでしょうか。ちょっと部分的な話なのですが。

人材政策室長

小学校教諭の試験ではないかと思いますが、マットとか鉄棒とか水泳とかを課しております。試験員に聞きましたところ、今年は例年に比べてそういう能力がやや低いという感想をおっしゃってみました。

竹下委員

私が山根委員と見学したのは何年前でしたっけ。その時も二人で見えていたんですけども、多くの方が蹴上がりが出来なかったですね。それからマットを転がる時も真っすぐ転がれる方があんまりいなくて大概曲がっていくとかね、運動神経は皆さんあんまり芳しくないという気がしたんですけども。ですから、今年だけというのはちょっと信じにくいんですけどね。

委員長

それはどうですか。

副教育長

毎年ですね。

竹下委員

毎年ね。

副教育長

今年だけということはないです。

教育支援分野総括室長

程度の差はありますが、今回はそういう意味ではスポーツ特別選考も0という結果でしたので、相対的

に今年は運動の実技試験で少し低かったということ、私も一緒に見ていてそういう感想を持ちました。

井村委員

バスケットボールとかバレーボールとか選ぶ中で鉄棒を選んでいるんですからね、自分の得意部門という中で。それでなおかつそういう結果ですか。

人材政策室長

井村先生が見られた鉄棒は、中学校、高校の体育の希望者に対する試験でした。

井村委員

そうですね。

竹下委員

体育の希望者か。

人材政策室長

鉄棒だけがどうかというと、これもいろんな種類をそれぞれ選べます。ただ全然出来ないという種目が一つでもあると、体育の教員としては合格は難しいと思います。

井村委員

僕も名前も何も調べてないから、何とも言いようがないんですけども。

竹下委員

一般的に、例えばバスケットボールやバレーボールが非常に上手で、体育の先生にふさわしいぐらいの腕を持っている人が、鉄棒を全然出来ないということがあり得るんですか。

人材政策室長

はい、ありえると思います。

スポーツ振興室長

一般的に、一つの競技種目に秀でておれば、ほとんど、我々としてはいろんなことが出来るのではないのかなと思っはいますけど。

人材政策室長

試験でも、能力がある種目で高い方は、他の種目もそれなりにやっぱりお出来になりますね。

竹下委員

大体ね、やっぱり運動神経がいいというのが。でもその鉄棒が体育の先生の試験とは想像しなかったですね。

副教育長

小学校の鉄棒は高さが低いですね。

井村委員

ああ、そうです。低いのとありましたね。

副教育長

見ていただいたのは。

竹下委員

小学校ですね。

井村委員

いや、僕は高い方だと思います。2人ぐらいだったかな。

竹下委員

私が見たのは小学校だと思います。

井村委員

小学校のもありました、低い方が。でも高い方もあって。

竹下委員

小学校の試験だと思いますけど、受けていて出来てない人が非常に多かったので、ちょっと心配したのですけどね。これで小学校の先生が務まるかどうか心配したのですけども。そういうところは大丈夫なんですか。本人が出来なくてもちゃんと教えるということが出来るのでしょうか。その辺はどうでしょうか。

人材政策室長

逆上がりという課題は毎年のごとくですので、採用試験に向けて手の皮がすりむけるまで練習をしてくるぐらいの気概を求めたいです。ただ実際の小学校の現場においては、逆上がりができないということで、全般的に小学校の教員として務まらないとまでは言えないと思います。普通に働いていただけというふうに思っております。

委員長

報告1はいかがでしょう。

- 全委員が本報告を了承する。 -

報告2 平成20年度全国高等学校定時制・通信制体育大会及び東海高等学校定時制・通信制体育大会の結果について（公開）

（スポーツ振興室長説明）

平成20年度全国高等学校定時制・通信制体育大会及び東海高等学校定時制・通信制体育大会の結果について、別紙の通り報告する。資料の1ページをご覧くださいと思います。全国高等学校定時制・通信制体育大会につきましては、8月1日から19日にかけて、東京都を中心に開催をされました。本県からは男子で10種目、女子7種目に12校計117名の選手が参加をいたしております。団体種目では徳風学園高校が軟式野球で2年連続の準優勝をしたのをはじめ、ソフトテニスにおきましては三重県選抜チームで5位入賞を果たしております。なお、個人戦につきましては資料にありますように3名の方が入賞をしております。なお、優勝の男子砲丸投げ北星高校西本さんにつきましては8月27日に教育委員会を表敬訪問して頂いております。続きまして2ページですが、平成20年度の東海高等学校定時制・通信制体育大会の結果です。この大会は9月7日に7種目が岐阜県の岐阜メモリアルセンターを中心に開催をされました。本県からは男子7種目、女子4種目に8校、計97名の選手が出場をしております。団体種目におきましても軟式野球で徳風学園高校が優勝し、バドミントン競技の男子団体種目で伊勢まなび高校が2位入賞を果たしたのをはじめ、以下3位入賞ということになっております。個人につきましても、そこにありますように4件の入賞がありました。

【質疑】

井村委員

これらの結果は最近の結果と較べるとどうなんですか。

スポーツ振興室長

これについては、入賞が毎年同様の数になっておりますので、本県の定時制・通信制の生徒につきましては大変頑張っ部活動をやっていただいていると我々としては把握しております。

竹下委員

これは出場する段階で説明を聞いているかも知れませんが、この2つの大会は出場者は違うのですか。

スポーツ振興室長

基本的には全国大会の出場につきましては、5月に行われます県高校総体の予選をあてております。東海大会につきましては、それぞれの競技の方でルールを、出場に関しては設けておるようです。例えば見ていただきますと、バドミントンの全国大会で5位に入賞している伊勢まなび高校の達中さんがいるかと思うんですが、全国5位ですので当然東海大会も上位に入賞をするのではないかと思うわけですが、実は東海大会の場合は、団体戦に出る選手は個人戦には出られないというルールを大会で設けているそうですので、この達中さんにつきましては、団体戦に出場をしましたので個人戦にはエントリーが出来ないというふうになっております。全国大会は、基本的には県大会で1位、あるいは2位の選手が行くようになっていそう。

委員長

報告2はいかがでしょうか。

- 全委員が本報告を了承する。 -

議案第29号 職員の人事異動（県立学校）について（秘密会）

人材政策室長が説明し、委員審議のうえ決裁の結果、全委員が承認し、本案を原案どおり可決する。

議案第30号 職員の人事異動（市町立小中学校）について（秘密会）

人材政策室長が説明し、委員審議のうえ決裁の結果、全委員が承認し、本案を原案どおり可決する。

報告3 抗議と要望への対応について（秘密会）

人材政策室長が説明し、全委員が本報告を了承する。